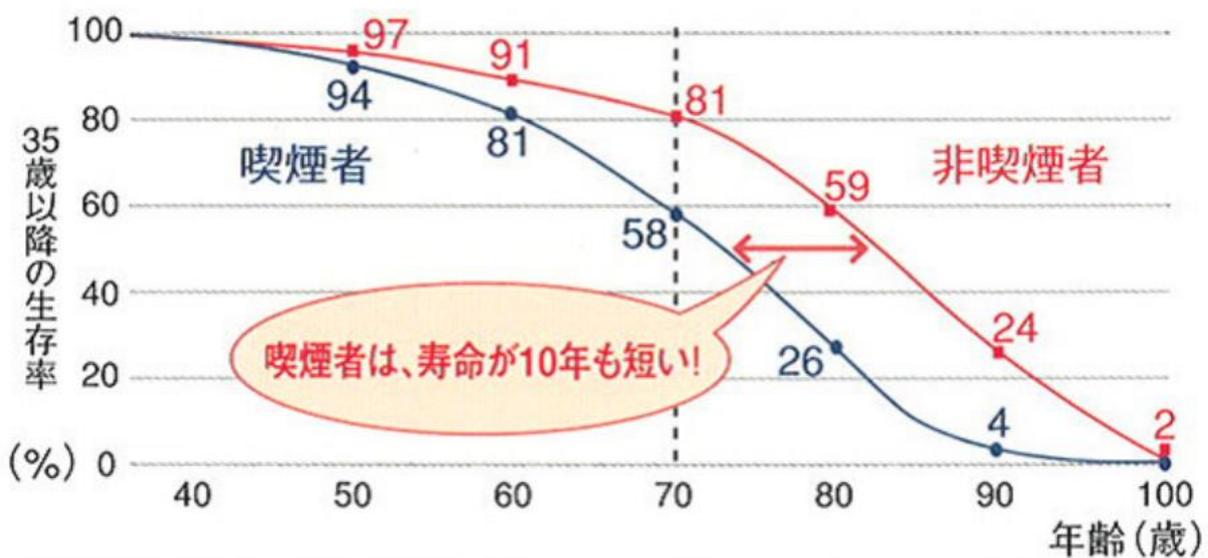


週刊 タバコの正体

タバコを吸い続けると、いろいろな病気になる確率が高くなり、そのせいで命を落とす可能性も高くなります。タバコさえ吸い始めていなければ、もっと長く健康で生活できたはずなのに、吸い始めてしまったばかりに寿命を縮めてしまった人が大勢いるのです。そこで、下のグラフをご覧ください。

喫煙者と非喫煙者の生存率の検討

英国人男性医師34,439名(開始時21~51歳)の50年間(1951-2001)の追跡調査(Doll Rら, BMJ, 2004)



岐阜ハートセンターHP から

英国で3万人以上の人を50年間追跡調査した結果を示したグラフです。たとえば横軸が70歳のところの点線をご覧ください。非喫煙者を示す上のグラフの交点は「81」となっていますが、喫煙者の下のグラフは「58」となっていますよね。つまり、タバコを吸わない人の70歳の生存率は81%なのに、喫煙者は58%しかないのです。つぎに非喫煙者の「59」のところをご覧ください、タバコを吸わない人の生存率が59%となるのは80歳であることがわかります。この結果から「喫煙者は、寿命が10年も短い！」と言えるわけです。

一度しかない人生で寿命が10年も短いなんて、どう思いますか。それに、そんな原因となるタバコにいったいいくら使ったことでしょうか。毎日10本を30年吸い続けたとするとざっと300万円になるでしょう。そんな費用をかけて寿命を縮めるために、毎日人目を避けてタバコを吸い続けるなんて、とてもむなしい限りです。

どうか皆さん、タバコを吸い始めないでください。

産業デザイン科 奥田 恭久